

こころ

2023
春号
Vol.59

～夢と希望と安らぎ、きらめく光に包まれて～



今夏、清心苑北館の隣に
新しい施設がオープンします！

「特別養護老人ホーム 優心苑」



地鎮祭

昨年秋には地鎮祭を執り行い、工事の安全な施工を祈願しました。関係者の方々が約30名ほど集まり、厳粛な雰囲気の中、儀式が行われました。



昨年9月からスタートした工事の様子です。2月末現在はこちらまで出来上がっています。現在、新規入居者様、オープニングスタッフともに募集中です。

建設工事の様子



<令和4年度 委員会活動報告>

【感染対策・褥瘡委員会】

本年度は新型コロナ感染で大変な1年でした。第7波、第8波、共に施設内感染が発生し利用者、職員も多くの方が感染してしまいました。ワクチン接種のおかげで重傷者は少なく済みましたが、第7波時は1つのユニット内で次から次へと感染者が出てしまい4名が入院となり、感染力の強さと怖さを実感しました。同時に感染対策の重要性を再認識しました。目標としていた「感染発生時は委員自ら率先してマニュアルに沿った対応ができる」が実行できなかったと反省点が上がっていました。今回の感染を通じ、各ユニット内で発生時の対応方法を皆が学ぶことが出来ました。来年度も同じ目標で活動出来たらと考えています。

褥瘡対策に関しては利用者様の全身管理の難しさを学びました。看取り時期になると予防対策を行っていても短時間で褥瘡が発生してしまい悪化してしまったケースを経験しました。今後も介護職、看護職、栄養士など専門職種での連携を取り、褥瘡対策に努めていきたいです。

委員長 柳瀬 美代子

【事故防止・入浴・記録委員会】

今年度の事故防止対策・記録・入浴委員会としての活動は、ヒヤリ・ハット月間、勉強会の開催、居住環境・危険箇所の見直し、服薬自意識チェックをしました。今年度の特徴としては、新型コロナウイルス蔓延防止のためのゾーニング対応が多く、物理的に見守りが困難になり、事故を減らすには非常に難しい状態が続いたことでした。ゾーニング対応が続いたことで、いかに見守りや声かけが事故を防ぐ上で大切かと改めて実感しました。

来年度も、ヒヤリ・ハット月間などの活動を通じて、職員一人一人の事故防止の意識を高め、質の高い介護を提供していけるよう努めていきたいと思えます。

委員長 森 眞

【身体拘束廃止委員会】

今年度は、「スピーチロックについて学ぶ」を目標に委員会活動を行いました。スピーチロックは「言葉の拘束」とも呼ばれており、言葉によって身体的・精神的な行動を抑制する行為を指します。スピーチロックには明確なラインが無いいため、厳密な線引きが難しいです。しかし、利用者様が拘束と感じたり、結果として行動抑制につながったりした場合はスピーチロックがあったと判断されます。虐待を引き起こしやすい心理状況に上手く対応できれば、虐待を予防できると考えられるとされています。

今後も委員会を開催することで各ユニットや他施設と状況共有を行い、勉強会を通して身体拘束や虐待のことを学び、利用者様が安心して生活ができる環境作りをしていきたいです。

委員長 箕浦 崇徳

【レク・広報委員会】

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、毎年恒例の夏祭りや初釜なども中止となってしまいました。しかし、コロナの感染状況を見ながら、時間短縮・感染対策徹底のもと、運動会やボランティアをお招きしてのレクリエーションを少しずつ開催する事ができました。また、ユニットやフロアごとで夏祭りなどを開催し、可能な範囲で入居者様の楽しみを増やすことが出来たと思えます。

来年度は、夏祭りなど大きなイベントを再開していく予定です。ユニットやフロアごとのレクリエーションについても活性化に努めてまいります。入居者様がより楽しんで生活していただけるよう、委員会のメンバーが中心となり、清心苑全体を盛り上げていきたいと思っております。

委員長 盛川 哲臣



入社式



今年度は新たに3名の新入社員を迎えました。清水理事長からは、「介護のプロフェッショナルになれるよう努力し、入居者様により良い介護を提供してほしい。そして健康を大事にしてほしい。」という祝辞が贈られました。新入社員からも、一名ずつ所信表明をもらいました。午後からはマナー講座等の研修が始まりました。ハートグループの一員として、これからよろしくお祈りします！



節分



今年も節分の豆まきを開催しました。南館と北館でそれぞれ赤鬼と青鬼がユニットをまわりました。真剣な表情で豆を投げられている方もいれば、その場の雰囲気を楽しんでいる方もいました。しっかり厄落としも出来たので、今年も無病息災を祈って元気よく過ごしましょう！



勉強会



～事故に対するリスク管理と分析～



主に新しく入社したスタッフを対象とした、事故対策の勉強会を開催しました。人は何か行動を起こすときに、失敗や間違いのリスクを背負います。私たちが日常生活の中で、忘れ物をしてしまったり、段差に躓いたりするように、介護の現場でも様々なリスクが潜んでいます。しかもそのリスクは命に直結するものが多いです。

今回は事故の分類や実際に起こった事故の紹介、事故が起こった後の分析方法、写真に基づいた危険予知訓練をおこないました。危険予知訓練では写真を見ながら、事故に繋がりそうな部分をスタッフ同士で話し合い、探してみました。今回の勉強会で、小さなリスクが大きな事故に繋がる可能性があるという事を認識して、日々のケアにあたってほしいと感じました。

清心苑 歯科衛生士の

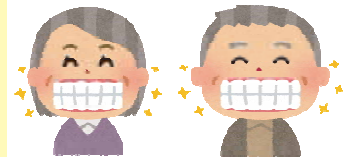


高齢者に多い「嚥下性肺炎」

「誤嚥性肺炎」というワードはテレビや雑誌でも良く目にすると思いますが、今回は「嚥下性肺炎」についてお話しします。嚥下性肺炎は、口腔内の細菌が肺に入ってしまう、それが原因で肺炎を起こすことをいいます。そのため、口腔内が不衛生な状態が続くと、呼吸をしているだけで「嚥下性肺炎」になってしまうリスクが高まります。予防には口腔内を清潔に保つことが重要です。

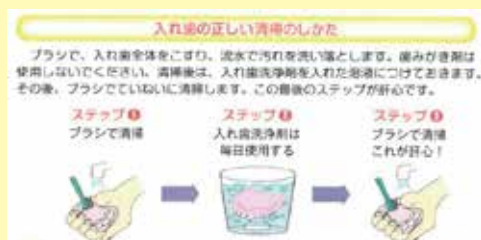
①歯磨き

「みがいている」と「みがけている」とは違います。歯みがきの上手な磨き方を覚えましょう。



②入れ歯磨き

入れ歯の汚れは細菌の温床です。常に清潔に保ちましょう。



③舌磨き

舌の表面には（舌苔）といい食べかすや細菌 古い細胞の死骸が付着しています。舌もきれいに掃除しましょう。



舌のコケの清掃も忘れずに！ やわらかい歯ブラシや、乾燥を清掃する専用ブラシを使いましょう。

デイサービスセンター 夢の郷



梅とウグイス



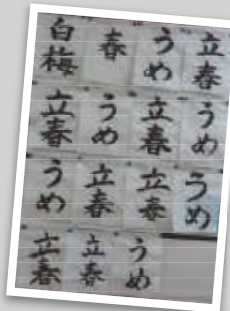
クラフト教室



節分カレンダー作り



書道教室



節分会



養老ショートステイ



雑祭イクラフト



初釜



みんなで作った
梅の木の前で



清心会 トピックス



互 礼 会

新年の恒例行事となっている互礼会を、今年も開催しました。今年は新しく理事に就任した、お二人からも挨拶を頂戴しました。

今年は勤続20年表彰が2名、10年表彰が9名もあり、素晴らしい新年のスタートとなりました。



「ユニットレク」 北館中町にて、2丁目のスタッフがお寿司を握りました。握りたてのお寿司は格別でした！皆さんとても喜ばれていました。



編集後記

いつも広報誌「こころ」をご清覧いただきありがとうございます。さて、今年の互礼会で理事長から今年のテーマは「健康」だというお話がありました。

WHOは「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義しています。コロナ禍が始まってから、WHOのいう「健康」は大きく低下していると思います。丈夫な体を作るだけでなく、信頼できる人間関係の構築や趣味などを通してストレスを溜めない生活を送る方法を見つけることがとても大切になってくると思います。日本のコロナ禍はいつまで続くか分かりませんが、皆様くれぐれもご自愛ください。

ホームページも開設しています。
是非、ご覧下さい。
「大垣市 清心苑」で検索して下さい。

特別養護老人ホーム 清心苑 短期入所生活介護施設 清心苑ショートステイ
〒503-2223 岐阜県大垣市矢道町1丁目303番地
TEL 0584-93-0510(代) FAX 0584-93-0585 フリーダイヤル 0120-35-7510



『寄付・寄贈品』

中津様 TV・TVボード

ありがとうございます。
大切に使用させていただきます。

面会の開始について

清心苑では、入居者様、家族様より直接の面会を要望されており、3月20日より一部対面での面会を再開致しました。但し、入居者様の状態、状況を踏まえ、個々に対応させていただき面会を中止する場合もございます。

尚、重症化リスクの高い入居者様の安全を第一に考え、原則的にはzoomを使用してのリモート面会をお願い致します。

面会当日に来苑された際は、体調チェック等よろしくお願い致します。

4月 花見会

コロナウイルスの感染状況に応じて、開催するか判断致します。

5月 運動会

コロナウイルスの感染状況に応じて、開催するか判断致します。